

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グロー		公表日		R7 年 4月 4日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		面積の設備基準は十分に満たしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		指定基準の人数職員配置をしている	安心して過ごしていただくために、個別対応等務めさせていただいていますがお子様がより安全安心して療育を受けることができますよう職員配置に配慮していく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		毎日対象の利用者さんが変わるため環境の設定を常に話し合っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を行っている	環境整備担当で計画を立てさらに清掃に努める
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		リラックスできるエリアを設置している 必要に応じて休憩できる環境を設置している	これからも個々の状態に応じて個別の空間設置など配慮する
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼後にミーティングの時間をとり、業務改善につなげている	今後もさらに職員にPDCAサイクルの周知徹底を行う
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		例年保護者様から評価をいただき、職員全体で共有している 保護者様と連絡をとりご意向を伺っている	保護者様からいただいたご意見に対して全職員に周知し業務改善に努める
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の朝礼後のミーティングにて課題を検討している	これからも検討や解決に努める
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は受けておりません	検討中
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に行っている	自事業所の弱みの部分の研修を計画する
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		スタッフで話し合いを数回行った 第三者が見てわかりやすく考えた	必要時に見直し、改善していく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		発達検査結果でアセスメントを行っている 必要に応じて各担当者会議や保護者様と話し合ったうえで作成している	お子様・保護様のご要望をしっかりと聞き取るよう努める 支援計画は各相談事業所へ資料提供を行っている
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者と担当職員で行い 全職員と検討会議を開催し意見を取り入れている	今後も関係職員が参画して作成するようにする
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		日々の記録を見直し今後全員が周知し やすいようにする	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		今年度新しく作成した内容ですすめた	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って作成している	今後も家族支援と地域支援に努める

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		月に一度話し合い、計画している 必要に応じて変更し臨機応変にチームで話し合っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定せずお子様に応じてその場に合った療育を行っている	お子様によっては集団参加の前段階の支援が必要な方には保護者様と話し合い行う
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様の状態を話し合い判断しグループ活動を取り入れている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		当日に話し合えなかったら次の日に行い次回の利用時に必要な振り返り・準備をおこなっている	より一層、努めます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		わかりやすい記録の取り方を全スタッフで話し合い作成した	今後も必要に応じてよりよくしていく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		行っている	振り返りが出来るよう定期的にガイドラインを確認する
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		全職員と話し合いながらおこなっている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		担当者会議やその他の会議に参加している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者様にもきょうりよくしてもらっている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		現在自事業所から学校卒業生がいません	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		戸外活動(図書館・公園等)で交流の機会があります。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や送迎時他必要に応じて話す場を作っています	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		圏域の活動を必要と思われる保護者様に情報を提供している		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別面談時や保護者会、また必要に応じてお伝えし、同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会を行っている	今後も必要に応じてよりよくしていく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		行っている	今後もよりわかりやすくしていきたい
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		もちつきを行い近所の方々に子どもたちと配った	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		実施している 保護者様がいつでも手にとって見れるよう玄関に置いている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		特にスタッフの動きを確認しあう会議を行った	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		確認している 担当者会議を開催してもらい参加した	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様との確認もしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		今年度スタッフとの共有を強化した	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		必ず月に1枚提出し、全スタッフ共有している 必要に応じて話し合いも行う	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎日朝礼にてどのような支援をしたか振り返りを行う記録を作成し実施している	必要時に見直し、改善していく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		毎日朝礼にてどのような支援をしたか振り返りを行う記録を作成し実施している	必要時に見直し、改善していく	